

まず、図枠を作成しましょう！



AutoCAD Electrical を効果的に使用するには、作図環境設定を行ったテンプレート、すなわち図枠を作成することが必須となります。

図枠には、AutoCAD の設定と AutoCAD Electrical の設定、両方が必要になります。

AutoCAD の設定は、各種スタイル及び単位設定等ですが、AutoCAD Electrical には大きく分けて 3 つの設定が必要です。

AutoCAD Electrical の作図環境設定

① 図面プロパティ

図面単位の作図設定となります。

- ・コンポーネント: タグの初期値等を設定
- ・線番: 線番の初期値等を設定
- ・クロスリファレンス: クロスリファレンスの形式を設定
- ・スタイル: 矢印及び配線のスタイルなどを設定
- ・図面形式: ラダーの規定値及びリファレンスの形式設定

設定は作図中に変更可能です。

② 配線画層設定

AutoCAD Electrical は配線画層を設定してから配線することで、接続情報に電線の色や太さを追加することができます。

画層プロパティ管理を使用して配線画層を作成し、配線タイプ作成コマンドで配線画層として登録します。

複数の画層を登録することで詳細な接続情報を出力できます。

③ 表題欄転記設定

図枠表題欄に図番及び工事番号等、設計情報を転記する為の設定です。

表題欄に属性を設定し全体をブロックとして登録します。プロジェクト表題欄設定コマンドにて、転記したい情報と登録した属性をマッピングします。

サンプル図面の図枠ブロックをダブルクリックするとわかりやすいと思います。

図面新規作成時及び表題欄更新コマンドにて情報を転記する仕組みです。

設定が完了したらテンプレートとして保存することで、図面を作成しすぐに作図を行うことができます。